

気象集誌掲載論文の電子アーカイブについて

2006年10月25日 日本気象学会理事会

日本気象学会ではかねてより気象集誌に掲載されたすべての論文をオンラインで閲覧することのできる電子アーカイブ事業を計画しておりました。この度、(独)科学技術振興機構 (JST)の全面的なご協力により、実施に移すこととなりました。

1986年以前の気象集誌には著作権の記載が無く、従って、この期間の論文の著作権は著者にあります。このため、気象学会理事会では、2005年11月20日付けで「1986年以前の気象集誌掲載論文の著作権の学会への委譲についてのお願い」を下記のとおり行いました。本件に関して、著作権委譲を拒否する方も無く、また、電子アーカイブ事業への異論も聞かれませんでした。

このような簡便な方法の場合、法律的には、著作権の委譲が完了したとはいえません。しかし、多くの方が電子アーカイブの推進を望んでおり、著者の皆様からご理解いただけるものと考えています。以上の理由で、日本気象学会では電子アーカイブを推進することにしました。なお、電子アーカイブを希望されない1986年以前の論文については、作業完了後であっても、電子アーカイブより削除しますので、気象学会事務局宛、お知らせください。

(参考)

1986年以前の気象集誌掲載論文の著作権の学会への委譲についてのお願い

2005年11月20日 日本気象学会理事会

日本気象学会では(独)科学技術振興機構 (JST)の全面的なご協力により、気象集誌(JMSJ)掲載論文を過去に遡って電子アーカイブすることを計画中です。ただし、1986年以前の気象集誌については、著作権の記載が無く、従って、この期間の論文の著作権は著者にあります。本来ならば、すべての著者に論文の電子アーカイブの許諾を求める必要があります。しかし、それは現実にはほとんど不可能です。

このため、1986年以前の気象集誌掲載論文のすべての著者に対し、当該論文の著作権を気象学会に委譲されることをお願いいたします。ただし、アーカイブを希望されない論文については、お知らせいただければ対象から除外します。この取り扱いについて、ご質問、ご意見がある場合は、気象学会事務局宛、お知らせください。2006年4月末日までを意見のお申し出期間とし、ご異論がなければ、1986年以前の気象集誌掲載論文についても、著作権を学会に委譲されたものとして、電子アーカイブの対象といたします。なお、このお願いは”天気”、“気象集誌“を通じて行うほか、気象学会ホームページにも掲示します。

気象集誌の電子アーカイブ事業は研究の便宜を図るのみならず文化史的にもたいへん意義のある事業です。気象学会会員及び気象集誌の著者のご理解とご協力をお願いいたします。